

シンクリモート SynQ Remote

「あの人なら、どうしてたんだろう」を解決

ベテランが辞めた翌週。その問いに、もう誰も答えられない。

製造業の技能継承を、映像とAIで構造化する。



全社が取り組む。なのに、継承できない製造業の技能。



65.9%

「指導する人材が不足」

技能を“教える側”がいない



-125万

若手就業者（34歳以下）

この20年で減少（割合 31→25%）



92.1%

技能継承に取り組む事業所

ほぼ全社が着手済み

やる気はある。でも、教える人も、覚える若手も、足りない。

なぜ、これだけ取り組んで継承が進まないのか



マニュアル化

“手順”は残せても、
ベテランの“判断の理由”は残せない。



OJT

教える人がいなくなれば、
そこで止まってしまう。

残すべきは「動作」ではなく
「判断」



動作 まだ見て真似できる



判断 言葉にされず、退職とともに消える

誰とでもすぐつながれて、どんな環境でも判断・指示ができ、記録も残る。

誰とでもつながれる

アカウント数無制限。
機材不要で社外とも通話可能。

対応デバイス

 PC (Windows / Mac)

 スマートフォン / タブレット
(iOS / android)

※専用アプリをインストールしなくても通話をご利用いただけます。

QRコード



現場に貼り付けたQRコードを読み取り通話開始。



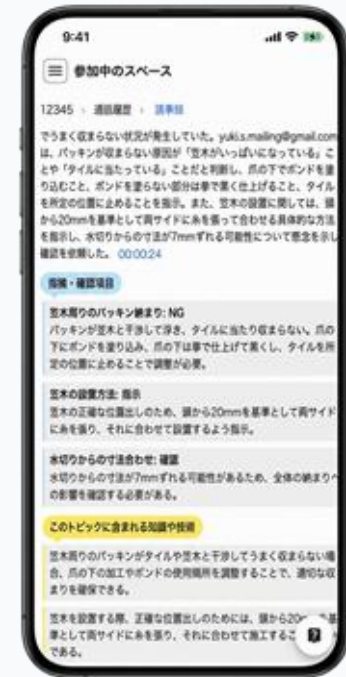
圧倒的に伝えられる

ポインタ・お絵描きで指示。
電波環境に強い独自技術。



すぐ残し、未来にも残す

会話や写真が自動で議事録に。
現場ナレッジとして蓄積。



支援する、その瞬間に。判断が、データになる。



残す

ベテランが遠隔で現場を見て判断する。「そこは止めて」「その音はおかしい」—— ふだん言葉にならない判断が、映像と言葉になって残る。



貯める

支援を続けるだけで、判断ノウハウがデータとして蓄積。わざわざ撮影する手間はいらぬ。

× 動作の撮影 ○ **判断の記録** —— 日常業務の副産物として、勝手に貯まっていく。

貯めて終わり、ではない。AIに聞けば、引き出せる。



「この現場、どう対処すべき？」

現場の若手

これまで現場でベテランが下してきた“判断”が、答えとして返ってくる。



SynQ AI

「あの人なら、どう判断するか」を、ベテランがいなくても聞ける。

映像と言葉で「判断」を残し、AIで引き出す。これが、私たちの考える技能継承のかたちです。

● 共創のお願い

技能継承は、1社では解けない。

中部は、日本のものづくりの中心地。だからこそ、皆さまで一緒にしたい。



現場での実証

技能継承に課題を持つ
製造現場での実証



判断データの活用

蓄積したノウハウの
共同活用



標準化への共創

業界の標準づくりを
一緒に

「あの人なら、どうするか」を、失わない現場を。

株式会社クアンド | SynQ Remote / 下吉 — このあとのネットワーキングでお声がけください。